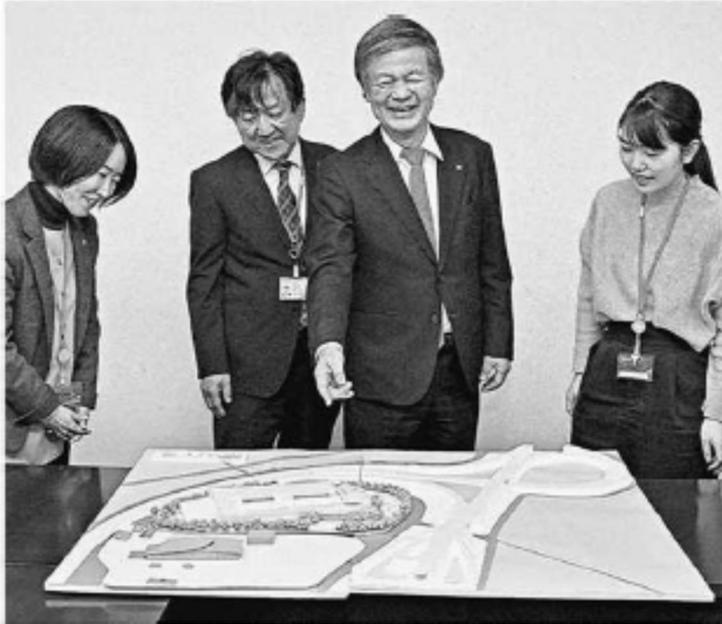


日東工器 福島市に新工場



福島市に建設する新工場の模型を前に
笑顔を見せる日東工器の小形明誠社長
(右から2人目)ら＝東京都大田区で

大田区の機械工具メーカー 採用、木材調達で復興後押し

大手機械工具メーカーの日東工器（東京都大田区）は、福島市の工業団地に新工場を建設すると発表した。山形市と福島県白河市にあるグループ2社の生産拠点の老朽化を受け、新工場に集約して二〇二五年四月の稼働開始を目指す。

新卒者など地元人材の雇用や、工場建設に使う木材などの地元調達を計画しているという。小形明誠社長は本紙の取材に、生産性の向上や競争力強化とともに「福島への復興にも少し

でも寄与したい」と語った。東北中央自動車道に直結の「福島おおさそつインタ―工業団地」のうち、約二万八千平方メートルの敷地に、鉄骨造三階建て約二万平方メートルの工場を建設する。投資総額は約百十二億円。建築機器や電動ドライバー、配管を素早く接続、切り離してきる継ぎ手など、グループの全製品を生産できるマルチ工場にする。

脱炭素に向けて太陽光発電、地下熱を利用。工場見学や道の駅との連携など、地域交流も検討する。

福島での新工場計画に関して、日東工器の小形明誠社長は本紙の取材に「地域とも連携し、ウィンウィンになれば」と語った。「新工場建設の経緯は。木幡浩福島市長が当社に來られて、福島復興への思いを語っていただいた。そうした熱意も用地選定の大きなきっかけになった。雇用などで、少しでも福島の復興に寄与したい。一方で資機材価格が急騰し、総工費の見積もりが三

社長「福島とウィンウィンに」

割くらい上がった。それでも老朽化した工場では効率的な生産が望めず、この投資は必要。コストを抑える努力をしていく。「魅せる工場」を建設コンセプトにしている。きれいな山々に囲まれた立地で、設計する建築家の隈研吉さんも「やりがいがある。この景観を生かしたい」と。木材も福島のものを使う。近くにある「道の駅ふくしま」とのコラボも今後検討したい。